

第3回

今後の学校給食のあり方に関する

調査特別委員会会議録

1. 日 時： 令和7年12月17日（水） 午後1時49分～午後2時27分
2. 場 所： 全員協議会室
3. 出席者： 【委 員】河村委員長、岡部副委員長、松崎（正）・山上・井福・大塚・中村（真）
松崎（百）・中村（慎）・河野委員
【欠席委員】なし
【委員外議員】なし
【執行部】なし
【傍聴者】市民5名
【事務局】一瀬議会事務局長、増山議事課係長、生座本議事課係長
4. 協議内容： 1. 執行部への確認事項について
2. 今後のスケジュールについて
3. その他
5. 概 要：
(開会 午後1時49分)

○委員長（河村康之） では、皆さん、こんにちは。ただいまから第3回今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会を開催いたします。当初13時30分から開催でしたが、遅れまして申し訳ありません。本日、市民の方の傍聴があっております。

では、お手元の資料に基づきまして、会議のほうを進めてまいりたいと思います。

まず、執行部への確認事項になります。

一番初めにお配りしている縦の用紙を見ていただけますでしょうか。これは前回第2回目の給食委員会の中で皆様からいただきました質問といいたいでしょうか、要望でございます。ざっくり分けて四つでございます。

(1) 委員会としての共通認識があった必要な点として、本市が選択制給食を導入した経緯を執行部に聞き取りをしたらどうかということ。

(2) 給食に関する執行部への確認をしたい項目として、皆様から出た意見でございます。①から⑮まででありまして、横のほうに行きますと、対象、小学生か中学生か、また、内容については、生徒の昼食の状況なのか、実施方法なのか、また、食の安全、食育についてのことなのか、また、教職員の負担、保護者のニーズという部分で丸をつけております。

三つ目としましては、今後の調査をしたい項目として出た意見でございます。主に小中学校の現状の調査を行ってはどうかということ、それと全員制給食を行っている自治体への視察・見学を行ってはどうかということでございます。

また、(4) その他では、ランチ給食を食べなかった人へのお金の返金の状況についてのご意見を調べてみたらどうでしょうかというご意見もございました。この項目について調査を行っていくんですが、まず、前回会議の中でお話をした、現状の小学校、中学校の給食がどうなっているのかというこ

とを、市の担当部署、教育総務課ですかね、そこに聞き取りをして、その後、小学校、中学校の見学に行ってはどうかということでございますので、そのことについては（１）と（２）が主にその内容かなというふうに思っています。さっきも言いましたが、（１）については選択制給食を導入した経緯、（２）については様々、皆様からいただいた意見でございます。

ただ、①のランチ給食、大盛り・小盛り、男性・女性、現状どうなっているか、これは当然パン食のことも含むと思いますので、どうなっているのかということの聞き取りであったり、②であれば、欠食の状況、ランチ給食を頼んだ方が欠食したとか、もしくは弁当を持ってこなかったとか、そういう方に対しての状況が今どのようになっているとかか。③については、中学校の食缶式給食を各階に配膳した場合のエレベーター等の設備費はどれぐらいかかるんですかとかか。当然、これはエレベーターだけじゃなくて、給食が配膳される配膳室の問題とかがありますから、大規模な工事がかかると思われかもしれませんが、そのことについて、例えば概算でこれぐらいかかるよとか、もしくはほかの自治体ではこんなもんでしたよとか、そういうような項目についてお答えをいただければと。

あと、④からずっと⑮までありますけれども、大体皆様からいただいたご意見はこのような形かなと思いますが、そのことについて、皆さん、どうですか。ざっと見ていただいて、このことも新たに追加してはどうかとか、もしくはこの内容はどういうことかももう少し掘り下げたいと思うけれどもどうかというご意見がありましたら、（２）の①から⑮について、何かご質問とかご意見がございましたらお尋ねさせていただければと思っています。どうですか、皆さん。ゆっくりご覧になっていただいて結構です。

例えば、⑬であれば、地産地消の状況。大野城市の給食、今であれば小学校給食の地産地消はどうなっているか。もしくは、中学校のランチ給食は、大野城市の食材を使っているのか。使っていないのであればどういうルートの食材の納品なのか、給食協会から取っているのか、もしくはランチ給食を作っている業者さんが選んだ業者で、安い金額だとか、衛生面、非常にいい食材を使っているとか、そういうことも調査すべきかと思っておりますので、市のほうで今、現状分かっている状況を調査して、投げかけて、お答えをいただこうと思っています。

（３）と（４）につきましては、その後、小学校、中学校のお答えをいただいて、小学校、中学校の現地を見て、その後、取り組むべき課題かなと思っています。

○委員（岡部かおり） （２）の項目ですけれども、７番の牛乳が余っているかとかそういうのですけれども、一応、先日、福岡市のほうの給食は、牛乳以外、お茶パックとかも月に２回とか提供するというものが先日あっていましたので、これも牛乳以外の飲物とかを検討されているかというのも、項目に入れていただけたらなと思います。

○委員長（河村康之） 分かりました。どうでしょうか。取りあえず、できたら今年中あたりにでも、担当の教育総務課のほうに、こういう列記をしてお答えくださいということ投げかけて、年明けのどこかの段階でお答えをいただいて、その報告をしたときに、また、今、岡部副委員長からもありましたように、いろんなご意見をお答えの中で問い合わせればいかなというふうに思っております。

○委員（松崎百合子） （２）の③ですけれども、一応、食缶式の給食をするときのエレベーター等のことを建設費等としていますけれども、現状のランチ給食の費用、そして、食缶式でもセンター方式と自校式、親子式もありますけれども、調理方式によつての建設費を含めて、その費用というのを一応検討してもらいたいと思います。

宗像市が自校式に移行するに当たって、やはり各方式でどのくらい、何がメリットとデメリット、費用面を出したフォームがありますから、持ってくればよかったんですけれども、そういうのを参考にして、各方式でどのようになるかというようなことを、一番、私としては重点を置いて調べたいと思います。

○委員長（河村康之） ③ですかね、中学校の食缶式の給食のとき、あくまでも食缶で、センターから運んできた場合のいろんな建設費とかだけじゃなくて、自校式をやったときもどれぐらいかかるのかとか、もしくは親子給食をやったときに、この間も一般質問がされていましたがけれども、そういうときの費用がどれぐらいかかるのかと、幾つか挙げてくださいということですね。

○委員（松崎百合子） そうですね、費用とメリットとデメリットですね。自校式ならどういういいところがあるとか、どういう問題があるとかを含めて検討されて、結果を出してある例がありますので、それを基にして調べてもらったらいいかなと思います。

○委員長（河村康之） 分かりました。どうしても建設費となると、多分、全然関係ない部署になるから、管財かどこかになるでしょうけれども、分かる範囲では出してもらうようにお話ししてみましよう。

○委員（松崎百合子） 今度、委員長のほうに届けます。その資料ですね。

○委員（大塚みどり） 今、松崎百合子委員が言っている内容で、(3)に自校方式、センター方式、親子方式とありますが、これに兼ねてくるから建設費というのは出てくるので、恐らく担当課はいろんな給食のやり方というのを把握していると思うので、まず、これをリストを出してもらって、全国的にどういうふうな、全員制でもやっているのかとかですね。それからコスト面というのが出たほうがこちらも分かりやすいかなと思うので、一言申し上げます。

○委員長（河村康之） 分かりました。概算といいましょうか、分かっている範囲でお答えいただいて、実際問題、その後、他市の状況を確認しますので、そのときに出てくると思います。

○委員（松崎百合子） 私が提案しているのは予算だけじゃなくて、どういうメリットがそれぞれあるのかということ整理して出したいと、ちゃんと比較して検討したいということなんです。

○委員長（河村康之） 分かりました。そういうことも含めて。この間も、質問で幾つか執行部も回答されたと思いますので、その辺は若干分かると思いますので、実際問題やっているところがどうなのかも含めて、幾つか調査が必要かなと思います。

あと、この質問内容について何かありますか。

○委員（河野敏夫） 今のエレベーターの件ですが、自分が那珂川北中学校に勤務したとき、もちろん全員制の給食だったんですけども、エレベーターは人用のエレベーターを流用していました。給食のいろいろな入ったやつが、そのエレベーターに入るようなサイズのを作って、3階まで持って上がって。ただ、空き教室を給食室にはしていましたけれども。なので、もし、こんな建設費等を考えられるときに、そんなふうにあく上がる方法とかも試算していただけるといいなと思っています。

○委員長（河村康之） 学校に今、人用のエレベーターがあるので、それを使えばコスト的には低くなることも考えてくれということですね。

皆さん、あと、確認したいことはございますか。

○委員（河野敏夫） ここの調査特別委員会の結論の遅い、早いで中学校の全員制が遅れるとしたら申し訳ないなど、自分は思ったりはするんですね。例えば、今のランチ給食、もう今60%ぐらいになったという話も聞きましたので、もういっそのこと100%にしちゃったらお金がどれぐらいかかるのかなとか、何かそんなのも教えてもらおうとありがたいなど。それで結構いけそうなら、理想の給食を求めるのと並行して、もうランチ給食100%で子どもたちに届くというやり方もあるかなとは思っています。

○委員長（河村康之） 今のランチ給食は選択制だけれども、そうじゃなくて、全員が食べたときはどれぐらいかかるのかということも、このときお答えをいただければということで、分かりました。

○委員（松崎正和） 今の意見ですけれども、そういう方法もありましようが、ただ、教育の一環ですね、給食というのは。弁当を持ってきて、はいどうぞ、それで食育になるのか、そこのところも十

分考えないといけないと思っております。

○委員長（河村康之） 食育も含めてですね。あと、皆さんのほうから何かございますか。

○委員（大塚みどり） 細かいところですけども、小学校の給食には汁物がつきます。ランチ給食にはついていないので、小学校が今、汁物をつけるのが月に20回のうち何回ぐらいとか、つかないときもあるんですね。だから、そういうのも含めて、ランチ給食は汁物がないというのが特徴なので、全員制給食になるとそういうものも入る可能性が高いので、何かその辺も、この中で答えていただけたらいいかなと。

○委員長（河村康之） どういうふうに聞くのか分かりませんが、そういうこともあるということ。あと、よろしいですか。

○委員（松崎百合子） ⑬の地産地消と併せて、オーガニック給食について、やはり関心も高まっていますし、市長の公約も出ていたと思いますので、オーガニック給食への可能性というか、そういう面も一緒に取り上げてもらったらと思います。

○委員長（河村康之） 大野城市で地産地消、オーガニック給食をやったときのメリット、デメリット、もしくはどこまでしかできないとか、そういうことも含めてですね。お答えがどこまで来るか分かりませんが、よろしいですかね。

○委員（中村慎一郎） 先日一般質問で、市長が直方市の給食を見に行くと、市長が直方市の何がよかったのかまで聞いてないので分からないんですけども、直方市の給食についても、僕らでも一緒に調べられたらというふうには思っています。

○委員長（河村康之） ありがとうございます。今やったのは（3）のところ、実はこれ、後からもお話ししようと思ったんですけども、（3）については（2）と重複している部分もありますけれども、（3）、（4）については、後日、またしっかり今度の小中学校を見に行く後に調査しようかなと思っていますので、それはまた後でお話をさせていただこうと思っています。そういう他市の状況も考えております。

取りあえず、こういう形でご質問いただいた中で、プラスアルファで執行部のほうに投げかけて、ご回答をいただいて、それをこの場でまた協議をするということをやっていこうと思っています。

○委員（松崎正和） 執行部は、実施に向けて、日々進めているわけですよね。だから、その執行部がどういう状況なのか、どういうことを今やろうとしているのかということも、きちんとこちらのほうで把握した上で議論しないと、執行部がやっていることを邪魔して遅くなると、そういうことになってはいけないわけです。

だから、この場だけであれがいい、これがいいじゃなくて、執行部がどこまで行ってやっているのか、その辺を常に打合せをして、この会議を開くときは執行部がこういう状況ですよということを皆が整理して把握できるように、そういうことをしないと。いわゆる執行部がやっていることを邪魔するような形になったらいけませんから。

○委員長（河村康之） 当然、執行部の意見も聞きながらと思っています。まだそこまでお話ししておりませんし、実際問題、執行部にまだ提案もしておりません。次のお話は年明けに行うのが多分初めてになると思いますので、当然、その前に一度、正副委員長とで執行部のほうに、こういうアンケートとかこういう要望がありますのでということでお持ちしたときに、向こうのご意見も多少は聞いてこようと思っておりますので、すり合わせをしながら行っていこうというふうに考えております。

○委員（松崎正和） 一番懸念するのは、この委員会ができたために全員制給食に移行するのが遅れてしまったと、そういうことにならないようにしないといけないんじゃないかと思えますよ。

○委員長（河村康之） その辺はできるだけ、まだ給食特別委員会は始まったばかりでございますので、後でスケジュールのほうもご提案させていただきますので、できるだけ早く行えるような形で、

当然、私も思っておりますので。

○委員（中村慎一郎） 財政負担と人件費を含むというところで、まだ、この前一般質問の打合せしたときに、積算とかというのは具体的にはまだやってないというお話だったので、今後これからやっていくかと思うんですけれども、その際に、財政負担のところ、コストの積算をすることとともに、答弁でスペースがないという話もあったんで。ただ、スペースがないのは、どれくらい足りないのかとか、どうしたら確保できるのかとか、その辺りも、すぐには難しいですけれども、詰め合わせていくことが必要なというふうに思っています。

○委員長（河村康之） それを今回、次、話をするかは別として、当然、これから他市の給食センターなのか、学校なのかを見に行くときに、そういう、後からつくったのであれば、そのときどうだったのかと、そういう状況も含めて確認すると思いますので、当然そういうことも今後出てくると思います。

この内容、今、皆様からいただいた意見、たくさんいただきましたので、その内容をまとめまして執行部のほうにお届けをして、ご回答を後日いただこうと思っております。よろしいですかね。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（河村康之） 行うという形になりますけれども、それをいつ行うのかということですが、今年があと1週間、10日ぐらいですから、当然、来年以降になると思いますので、1月のどこかと思っています。一応、考えているのが、先ほど本会議の中でも、1月に議会運営委員会もあれば臨時会も一応予定されているということですので、その間のどこかまでにご回答をいただいて、もう一度この特別委員会を開いて、その中でご紹介をしていただければというふうに思っております。よろしいですかね。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（河村康之） 次回、当然執行部のほうも聞きながら、いつがいいか、1月13日か20日かだったと思いますので、それがどうかということで確認をさせていただいて、また特別委員会を開きたいと思っています。それが取りあえず、今回の第1項目の確認事項についてであります。

その後、(2) 議題のほうですね。今後のスケジュールについて、ご紹介をさせていただきます。

今ご説明をさせていただきました、これは正副委員会の委員長の中でお話をさせていただいて、この特別委員会が最終的にどこまでやるのかと、どこまで調査するのかということで、スケジュールを立てさせてもらいました。

上のほうから、令和7年12月から始まって、令和9年の4月までが、特別委員会があると。項目としては、1期、2期、3期、4期というふうに書かせてもらっていますけれども、これは各期ごとで行うテーマをつくっております。

今、お話をさせてもらいました、市内学校の調査期間として、第1期とさせていただきます。来年の1月から3月の間で、皆様からいただいた先ほどのご意見をまとめて、執行部に回答いただいて、そして学校、小学校、中学校なのか、そこを見に行く。見に行った後に、もう一度、みんなで、見に行った感想なり要望を聞いて、煮詰めていく。小学校、中学校、大野城市内ですね。それを3月までの、この第1期で行いたいというふうに考えています。

その後、第2期としましては、来年の4月から6月、取りあえずこの6月までにします。そのことについては、先ほどの(3)と(4)のことについて調査を行いたいと思っております。つまり、大野城市外の小学校、中学校、給食センター等の調査に、この第2期の中では行きたいと思っております。

そして、この表のその他のところ、これ、精算と書いてあるのが皆さん分かりますかね。これ実は、今のランチ給食は小学校、中学校も給食無償化になっております。この精算というのは、ランチ給食

を食べない、お弁当の方に返金をする期間がこの間なんですね。2学期が終わって1月の下旬か2学期の頭ぐらいに、2学期分の返金をやる。今度は3月、3学期が終わってからこの間、3月から4月の間で返金をやる期間がこの期間になりますので、その返金の状況も踏まえて、1枚目に戻って(4)その他のところで、ランチ給食を食べなかった人への返金状況と書いておりますから、この返金状況を調べたい。当然、返金は滞りなく行っているのか、もしくは問題があったのかも含めて、それ以外に今後学校給食を進めていく、また、直接給食と関係ないかもしれませんが、例えば給食が無償化になったときに、今、大野城市は大野城市独自で、ランチ給食を食べなかった人にも返金、不登校の人にも返金、アレルギーの方にも返金、もしくは大野城市外の方にも返金をしている、果たしてこれでいいのかということも、この間で調査できればなど。ひょっとしたら今後、学校給食を変えるときに、いやこれは選択制であろうが全員制の給食になろうが不登校の方までしか返金しないよとか、市外の方には返金するよとか、というまでの精算も考えてこの議論の中で行っていきたいと思っているのが、この第2期の調査項目になります。よろしいですかね。第1期については市内の小中学校の現状を調べる、第2期については、市外の小学校、中学校、もしくは給食無償化に伴ったりする現金の返金についても今後どうしていくかということも、第2期の間で調べていきたいというふうに考えております。どうなるかわかりませんが、その間、第2期のほうは4月から6月までを考えておりますので、調査できましたら、できればこの6月議会のときに、今までの分の中間報告ができればいいかなというふうに考えております。

という1期、2期のスケジュールですけれども、皆さんのほうからここまで何かありますか。よろしいですか。何か質問等もあれば、よろしいですか。

○委員(松崎百合子) 第1期が3月までということですがけれども、各期、やはり議会に入ってしまったら、会議はできますけれども、調査とかは忙しくてできないと思うんですね。それで、調査とかは、やはり閉会の時期に集中してできるように考えておいたほうがいいんじゃないかと思えます。

○委員長(河村康之) これはあくまでも委員長と副委員長とでつくった案でございます。第1期の矢印は3月までですから、学校がないときに行ってもしようがありませんから、あるのであればこれぐらいかなと思って。それまでに、当然、執行部のほうにお尋ねをして、学校に来られたら困る時期とか、来てほしい時期もあると思えますので、取りあえず、これをつくっております。あくまでも参考、案として聞いていただければいいのです。逆に、この学校調査が4月まで入るかもしれません。あくまでもこういうプランでというふうな、流れる的にはこういう形で、市内の学校調査、今度は市外の学校とかセンターの調査を1期、2期というふうな形で行っていかうと考えております。

○委員(松崎正和) もう一度言っておきますけれども、執行部にあれ調べてくれ、これ調べてくれと言ったら、大変な負担になると思うんです。向こうは通常業務をやっていますから、その辺は十分、正副委員長さん、心して進めていただければと。

○委員長(河村康之) ありがとうございます。当然、これは執行部のほうにも協議をしながら日程を決めていかうと思っています。しかし、今回特別委員会ができましたから、特別委員会は令和9年の4月までというふうに逆に期間が決まっていますので、その間でしっかりと協議をしていかうと思っていますし、学校のほうも多少の無理はしていただくかもしれませんが、極力負担にならないような形で進めていきたいと思っています。これが一応、第1期、第2期の運営の仕方というふうに思っております。

この1期、2期について、特にありませんかね。

〔「なし」の声あり〕

○委員長(河村康之) あと、その後ですけれども、この予定では第2期が6月議会で取りあえず終わるというふうな過程でございます。その後ですけれども、第3期については、あえてスケジュール

ルを書いておりませんが、今まで第1期の小学校、中学校の状況、第2期は市外の小学校、中学校、また給食センターの状況を踏まえた上で、今後、どういう方向に行くのかという、これこそ本題だと思います。大野城市の学校給食をどういうふうに進めていくのか。1期、2期でしっかりほかのところを調査した結果、まとめていくのがこの3期であるというふうに思っています。これも取りあえず7月から9月と設定はしておりますが、この間にできるかどうかは分かりません。ですから、時間的な問題もあると思いますけれども、取りあえず9月までをめぐりに、第3期でしっかり検討したいと。

その後、第4期としまして、10月ぐらいから12月ぐらいをめぐりに最終報告ができるような形でどうかと思っております。第3期、第4期は、どちらかというところこの部屋でしっかり皆さんと意見交換をして結論を出していく時期だというふうに思っております。

調査は、今、松崎百合子委員からもありましたから、当然、学校の状況もありますので、ずれることも想定されます。ですから、早め早めということで、令和8年の12月には答えが出れば。出なければ最悪、まだ令和9年の4月までございますので、その間まで若干延びることは当然想定をしておりますので、このスケジュールで一応、考えていこうと思っております。

皆さん、ご意見はどうでしょうか。今の第1期、第2期、第3期、第4期という形で一応、計画は立てております。ただ、今分かっていることは、第1期と第2期にやるべきことぐらいしかまだ決まっております。

○委員（山上高昭） こういったスケジュールをつくっていただいているので、私たちがやらなくちゃいけない流れというのは大枠でつかめました。まずは市のほうの調査をやっていくということが大事だと改めて確認できましたので、このとおりに進めていきたいと思っております。

○委員長（河村康之） このような流れでよろしいですか。多少変更は出てくるかもしれませんが。

○委員（大塚みどり） 中間報告のところの確認ですけれども、どういった中間報告というふうに想定しておけばよろしいですか。

○委員長（河村康之） 今、考えているのは、第1期で市内の小中学校を見る、第2期で市外の小中学校を見るというか、この第1期、第2期の調査の流れになります。

第1期を見ていただいて、市内学校調査が1月から3月までありますよと。①教育総務課に聞き取りの調査を行う。これは先ほどの要望を出してご意見をいただく日です。ですから、大体1月13日なのか20日なのか、またはそれ以外なのか、それになります。まず、それが第1番目です。

その後、小学校、中学校に行く日程、もしくは何を調べるのか、小中学校の現地調査、打合せ、日程と視察時間の確定、どこの学校に行くのか、視察先。そして、調査項目、何を見に行くのか、どこを見るのか、調査は誰と行くのか、班分けをしたほうがいいのか、その後の評価はどのようにするのかということ、この調査の打合せの中で行いたいと思っております。ですから、実際問題、調べてもらいたいのは、調査に行って給食を食べて帰ってくるだけじゃなくて、何を見に行くのかと、どんなことを調べるのか。これは皆さん、委員が責任を持って調べていただきたい、また考えていただきたいというふうに思っています。行くだけじゃなくて、目的感を持って行っていただきたいと思っております。

②の小中学校の現地の視察を終えた後、戻りましてから、これは第3回目の特別委員会の予定でございます。③が、小中学校に行って調べてくるということです。

その後、④、調べた後に、その調査の内容をみんなでまとめる。視察先の報告、メリット・デメリット、課題等がどうかとまとめて、市外の調査の協議を終えるということが第1期。ここまでが第1期の流れでございますので、皆さん、目的感を持って行っていただければというふうに思っています。

第2期については、その後、4月から第2期が始まるとして、市外の調査を行う。その行う調査が、第1回目ですどこに行くのかと、学校なのか、給食センターなのかというのを調べます。日程と視察時

間、視察先、当然依頼もしないといけませんから、当然オーケーをもらえるかどうかは分かりません。また、調査項目については、何を、どこを見るのか、調査は班分けにしたほうがいいのか、全員で行ったほうがいいのかということも含めて、第2期では市外の行く場所を話し合うというのが①になります。

②については、市外の給食センターや学校等に行くという過程になります。これは①のほうで、大体、日程とか、視察先、調査先も調べて行く、これは1か所なのか、2か所なのか、全員で行くのか、班で分けて行くのかをいきます。

その後、第3回目は、その調査をした結果、また皆さんに集まっていただいて調査報告をしていたきながら、教育総務課のほうから精算状況の確認をしていただくということが第3回になります。

第4回については、給食センターのまとめとか精算状況のまとめを含めて、中間報告にまとめます。先ほど大塚委員からありましたのが、ここなんですね。実際問題、給食はどうだったかと、小学校はこうだった、中学校はこうだった、視察先のセンターがこうだった、今後精算についてはこういうことでやっていこうと思うとか、そういうことぐらいまで報告できればというふうに考えております。調査結果の報告を第2期でまとめて、それを中間報告させてもらおうと思っています。

その後、第3期の調査をみんなで話し合っ詰めていくという形を考えております。取りあえず1期、2期までの内容になります。

この中で、何か皆さん、ご意見とか感想とか、要望とかございましたら。

○委員（松崎百合子） 中間報告を6月議会を出す予定ですね。

○委員長（河村康之） 今のところは、はい。

○委員（松崎百合子） そして、今のところ調査は1・2月、第1期と第2期の前半で調査をして中間報告を出す予定、中間報告を6月ということですね。それで結局、一番最初の回でも言いましたけれども、やはり12月議会を最終報告のめどにしていると、次の選挙もありますし、また、執行部のほうがやはり全員制給食に向かって進めている状況というのをこちらが遅らすようなことはよくないので、やはり中間報告を見て、よければ9月議会で最終報告を出すように早めに設定していたほうがいいんじゃないですかと思います。

○委員長（河村康之） ありがとうございます。それも一応、考えました。9月でどうかなということも考えましたけれども、ただ、小学校、中学校、市外を見に行くということで、多少ずれは出てくかなというのを想定しまして、6月の中間報告も本当にできるかどうか分かりません。ここまでできませんという中間報告かもしれないというのも懸念がありましたので、ひょっとしたら、ぼんぼんぼんへ行けば第3期がぐっと短くなって、結論も出れば、当然9月の定例会で最終報告も可能かと思えます。これは私がどうのこうのじゃなくて、皆さんとの協議の中で出てくると思えますので、当然そういうことも頭の中には入れております。

ほか、皆さんのほうから何かございますか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（河村康之） 特になければ、このスケジュールで行っていこうと思っています。ちなみに、第1期のほうの1番、教育総務課との聞き取りですが、先ほどお話ししましたが、1月13日の議会運営委員会で皆さん登庁します。そして、20日の臨時会がありますので、当然、さっき松崎正和委員が言われたように、執行部のほうの作業上のこともありますので、どの辺りでできるか分かりませんが、そのどちらかで教育総務課から聞き取りの調査をできる機会ができればと思っています。そのときに、できればもう次、小学校、中学校、どこどこ小学校だったらいついつ行けるよとか、そこまで教えていただければ、その辺もしっかりこのスケジュールも見せていこうと思っていますので、できるだけ早く終わるんであれば早く行きたいと思っています。

ただ、皆さん、再度のお話ですが、先ほどの、何のために行くのかとどこを見るのかということは、皆さんしっかり意識を持って見ていただきたいと思います。私、まだ副委員長とも相談していませんが、どうせ行くなら、調査項目、これはこうですということを幾つか表か何かまとめて、皆さんに渡して、個人でチェックをしていただいて、それを発表してもらおうというのも一個の方法かなと思っております。そういう形で調査のほうを進めていこうというふうに思っております。

まず、この第1期、第2期については調査ということで、結論はまだ先ですので、第1期、第2期はしっかり見ていただく。第3期以降が、本当に皆さんに知恵を絞っていただいて、第2回目の調査特別委員会でも言いましたが、今まで20年間変わらなかった給食が変わるかもしれないと、その重責を担っている特別委員会でございますので、しっかりと皆さん、いろんな議論の中で、遠慮なくご意見を出していただければというふうに思っております。

あと、皆さんのほうから何かございますか。

○委員長（河村康之） こういう形で今後は進めていこうと思っておりますので、1月の教育総務課との聞き取りが今後になりますので、また日程等をお伝えさせていただこうと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○委員長（河村康之） では、そういう形で、今日の特別委員会の報告といいたいまいしょうか、スケジュールに関しての報告は終わらせていただきます。

その他、なかったですかね。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（河村康之） 次回の調査につきましては追ってまたご連絡をさせていただきますので、どうかよろしくお願いいたします。いいですかね。

以上でございます。どうもありがとうございました。

（閉会 午後2時27分）